

平成28年度事業実績報告

1、 総括

障がい者アートの普及の初心にかえり、県内主要都市にてアート展を展開、障がい者アートの魅力を知ってもらういい機会を、各地でのアート展を行政と協力しながらもうけ、その結果、行政の理解と各地の福祉施設などからの理解を得ることができた。この基礎的な活動によって、県内によりやうく当法人の活動が知られるようになったことは大きな成果である。

また、恒例のエキスポの開催が日本チャリティ協会との提携により、広く海外からの出展者が増加し、国際展への基礎が築けた。

2、 組織の状況

① 平成28年度末会員数

正会員 78 賛助会員 36 計 114

② 理事数・理事会開催数

理事 6人 監事 2人 開催数 3回

3、 事業実施の成果

A) B型就労継続支援“わんぱく大使館”事業

利用者数：22名 一般就労への希望者が数名おり、今後一般就労への導きが必要になってくる。その対応によって、利用者の増減が生まれる。微妙な対応が必要になるが、本来の役目である一般就労に向けての努力が一層必要である。

B) アート展の開催

ディスカバーしまねアート展として、県内主要都市にて、行政と連携しながら展開。根のはったPR活動ができた。添付の予定表を参照。行政と協議しながら一つ一つ企画を押さえ、テーマを設定、関係福祉施設、学校などによびかけ、福祉による地方創生を試みた。開催した都市は 雲南市、大田市、江津市、松江市、浜田市、出雲市、安来市の7市。協賛出展した団体は50団体、動員数は2000人、出雲市は第6回チャレンジドアートエキスポインジャパンに参加という形をとった。*エキスポは参加934人、前回は804人

*別紙しまねアート展企画書参照

C) グループホーム“わんぱくハウス”事業

念願のグループホーム完成。2017年3月末完成。

総額 1793万円

国、県、市の補助金 875万

自主財源 918万

* 寄付金、借入金、NPO 財源で補填

* 補助金完了。支払い5月末完了

* 運営：世話人、生活支援員、2人体制

D) 相談支援事業 米子始動（出雲市兼務）：廣野、小松原 2人体制

E) わんぱく学園事業 出雲市からの受託事業

年間36回 延べ229人参加

4、 事業の実施に関する事項

① 特定非営利活動に係る事業

* 事業名：障がい者の感性を生かした音楽・芸術創造事業

事業内容：CD の制作・販売

実施時期：平成28年10月15日（土）

実施場所：ビッグハート出雲・白のホール

従事者：10人

受益対象者の範囲・人数：80枚

○その他下記の事業はしていない。

- 1、 障がい者の情報 共有、相談、県内の障がい者グループとの情報交換や相談の充実。→ディスカバーしまねアート展の開催による他の団体との共同活動を始めることによって、一部情報交流は始まってきた。
- 2、 ネットワークを図り、県内アーティストに関する事業を含めた自立ネットワークを構築する。
- 3、 イベント各種のチケット販売に関する事業
- 4、 共生の町づくりの普及啓発事業：全世代が交流する「音楽サロン」や研修会を開催する。→エキスポと同時開催する「ゆめのつばきコンサート」は障がい者、健常者との共同演奏会は開催している点での貢献は9年間継続している。
- 5、 県内アーティストのコンサート企画斡旋に関する事業。